

ファリサイ派 (英語 **Pharisees** ギリシャ語 **Φαρισαῖος** -ファリサイオス)

新約聖書の福音書中に実に 87 回、使徒言行録に 7 回、フィリピの信徒への手紙に 1 回と頻出する重要な言葉です。 サドカイ派と対比されるユダヤ教の一派で最も影響力にある宗派。律法（モーセの律法）に熱心でしたが、余分な聖書の伝統の細部にこだわり、人々の生活にそれを強いることとなり、律法の内実とはおよそかけはなれた外面的なもので、よくイエスに批判されましたので、敵意を抱いており、ついにはイエスを十字架にかけることに加担することとなりました。

なお、この言葉ですが、日本語口語訳および新改訳ではパリサイ人と訳されており、むしろこの方が一般的かもしれません。

参照資料：

新改訳聖書（注解・索引 チェーン式引照付） いのちのことば社  
ESV Study Bible